

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立富士特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立富士特別支援学校
	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	381人

1. 使用状況

寄贈物品名	スヌーズレン用品
使用学年及び人数	小中高肢体不自由学級及び高知的障害学級(80人)
使用頻度	週2回(高)月1回(小)学期に10回(中)不定期(高知的学級)
使用状況	<p>昨年度同様に高等部が年間を通じて月、水の自立活動(グループ)の授業で通年使用しています。今年度は2グループに分け、学期ごとに交替で使用しています。1学期は学習室に常設してありましたが、2学期は生活訓練室に移設して使用しました。そこでアクアDX、ミルキーウェイ、ジュピター全てを使用して、授業をしています。学習を重ねていくことで、生徒が光の変化に気付いたり、自分から教材に手を伸ばしたりしています。</p> <p>また、小学部は水曜日の午後の特別活動等で使用しています。中学部は、他の光遊びの教材と組み合わせて使用しています。また、学習室は高等部知的障害学級に隣接しているため、余暇活動として時々使用しています。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>アクアDXは色の変化もさることながら、水音や振動が味わえるため、台座を利用して膝立ちになったり、あぐら座で水柱を抱え込んだりしながら全身で楽しむ様子が見られます。</p> <p>ミルキーウェイは糸状の光の束になっているので、形を変えて提示することが可能で、児童生徒が自分で持って動かして楽しんでいます。</p> <p>ジュピターは、声や小さな振動で色を変えることのできるジャンピング機能を使ったり、ウゴキングという電源とつなぐスイッチを使用して、30秒間だけ点灯させたりして、児童生徒が自分自身の力で変化を楽しんでいます。</p> <p>いずれの物品も光が美しく熱を持たないので、触って楽しむことができます。特にジュピターのざらざらした面を触って楽しむ生徒が増えています。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>現在寄贈いただいてから2年目となりますが、通年で光遊びを行う学部学年が増えています。計画的に学習に組み込むことで、沢山の児童生徒の良いあらわれが見られるようになりました。特に高等部で集中的に使用していますが、近隣の生活介護事業所でもこれらのスヌーズレンを取り入れている施設が増えています。卒業後の余暇活動として、肢体不自由課程、知的障害課程ともに有効に活用できています。</p>
その他希望や所感など	<p>たくさんの児童生徒の良いあらわれが見られ、教育活動が大変充実しました。特に卒業後の生活の余暇活動の充実につながられたことを、ありがたく感じています。PTA一同大変感謝しております。</p>

2. 活用の様子



ミルキーウェイを自分から
持って楽しむ様子

ミルキーウェイを持ち上げ
うっとりしている様子



あぐら座でアクアDXを抱え込んで
全身で楽しんでいる様子

不意に出した声でジュピターが
点灯し驚いている様子

